



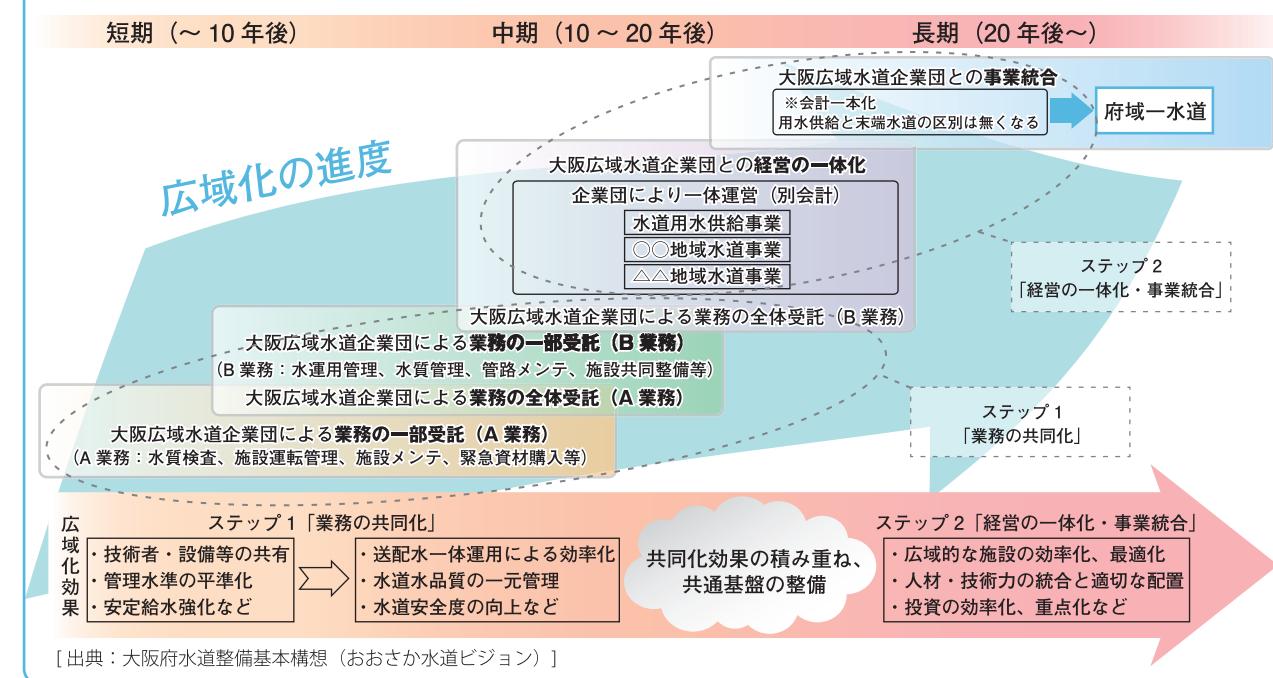
広域化の推進

府域一水道の実現に向けて

人口減少等に伴う水需要・料金収入の減少をはじめ、老朽化した施設の更新・耐震化やベテラン職員の退職に伴う技術継承への対応など、大阪府内の水道事業は様々な課題に直面しています。

大阪広域水道企業団は、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的にお届けするため、大阪府が策定した「大阪府水道整備基本構想（おおさか水道ビジョン）」に基づき、府内の水道事業の効率化や運営基盤の強化につながる「広域化」（市町村水道事業との連携拡大や統合）を推進し、当企業団を核とした「府域一水道」（大阪市を含む府内の全市町村との水道事業統合）をめざしています。

●広域化のロードマップ



△ステップ1△ まずはできることから

広域化の推進にあたっては、災害用備蓄水の共同製作、水質管理業務の共同化といった「業務の共同化」など連携に取り組みやすい分野から、順次取組を進めています。

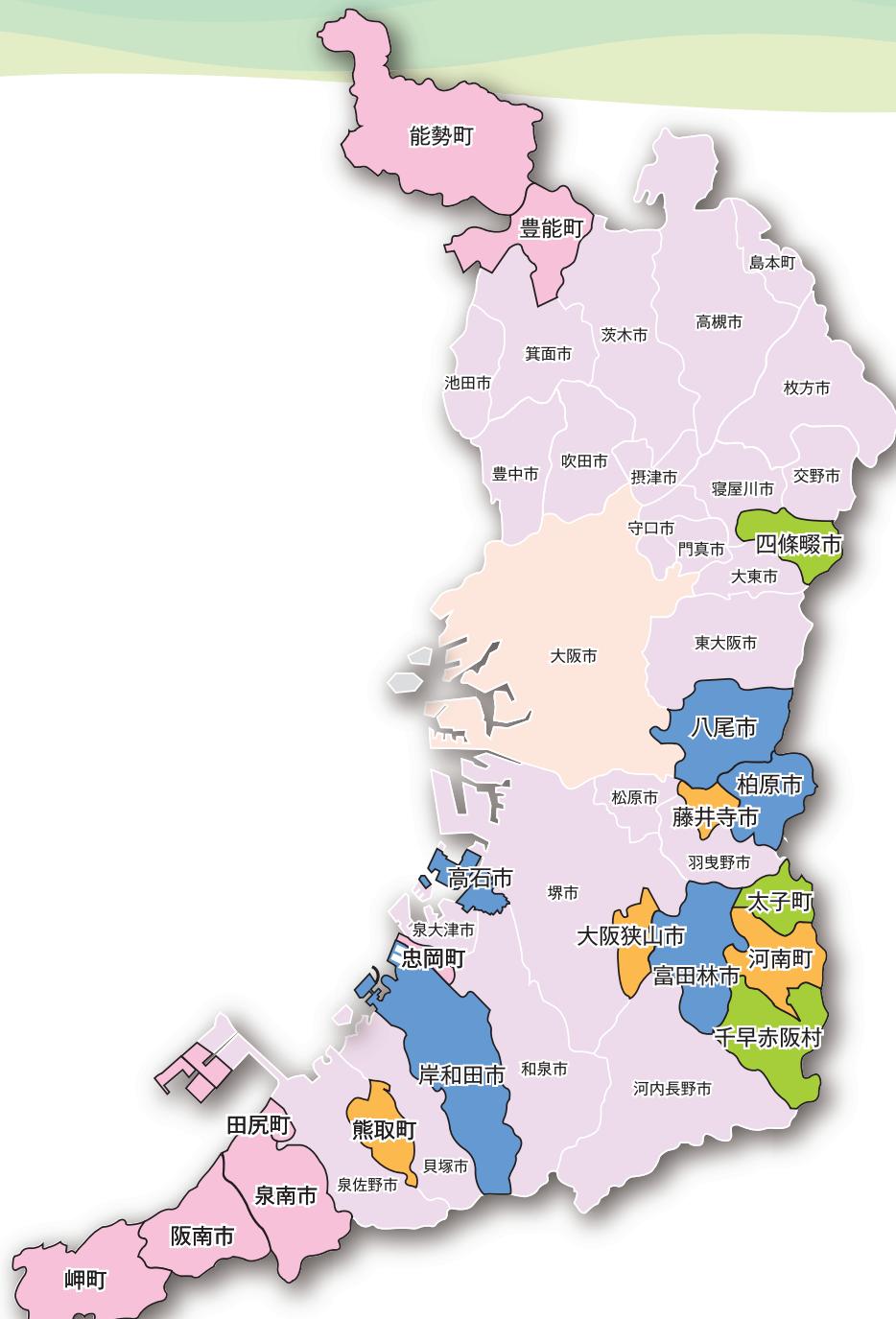
△ステップ2△ 進み始めた「府域一水道」

「経営の一体化」の取組として、市町村水道事業との統合に向け、検討、協議を進めています。

大阪広域水道企業団では2017年4月からこれまで、岸和田市をはじめ19団体の各水道事業を引き継ぎ、取水から家庭などへの給水までの水道事業全体を担っています。

これからも市町村水道事業との連携拡大や統合を進め、「府域一水道」の実現に向けて取り組みます。

大阪広域水道企業団と水道事業を統合した団体



3団体 四條畷市・太子町・千早赤阪村との統合までの動き

2014.4	「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」締結
2015.7	企業団首長会議において、「統合案」とりまとめ
2016.1	企業団規約の一部変更許可
2017.3	水道事業創設の認可取得
2017.4	統合（事業開始）

7団体 泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・田尻町・岬町との統合までの動き

2016.4	「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」締結
2018.1	企業団首長会議において、「統合案」とりまとめ
2018.7	企業団規約の一部変更許可
2019.3	水道事業創設の認可取得
2019.4	統合（事業開始） ※能勢町以外の6団体
2024.4	能勢町の水道事業を承継

4団体 藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町との統合までの動き

2018.10	「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」締結
2020.1	企業団首長会議において、「統合案」とりまとめ
2020.7	企業団規約の一部変更許可
2021.3	水道事業創設の認可取得
2021.4	統合（事業開始）

5団体 岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市の統合までの動き

2022.1	「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」締結
2024.5	企業団首長会議において、「統合案」とりまとめ
2024.11	企業団規約の一部変更許可
2025.3	水道事業創設の認可取得
2025.4	統合（事業開始）

19団体/42団体
(構成団体)
(3+7+4+5)